

Native Place of Streetcar

市電のふるさと

NO.14

2004



札幌ドームに本拠地を移転した北海道日本ハムファイターズの広告電車の撮影 札幌LRTの会 松居国男氏

Head Line

もくじ

- 1~2 ● 特集 都心の交通 連続ミニフォーラム
- 3~4 ● トピックス
- 5~6 ● ニュース
- 7 ● お知らせ

特集

都心の交通連続ミニフォーラム

札幌市では、今後十年程度で実現すべき交通対策などをまとめた「都心交通計画」を策定しています。その間、社会実験やさっぽろ夢ストリート市民一〇〇〇人ワークショップ（平成十五年十一月十四・十五日開催）などを通じて多様な意見・データを集め、検討が加えられました。

このワークショップに連動して、都心交通のあり方を考える市民グループ「さっぽろ都心フォーラム」が企画・呼びかけを行い、都心にかかわる様々な団体により、市電や自転車、札幌駅前通地下歩行空間などのテーマで、平成十五年八月から十一月にかけて、十二回にわたる「都心の交通 連続ミニフォーラム」が開催されました。（札幌市後援）

そのなかから、市電に関するミニフォーラムを紹介します。



Forum 1

LRT さっぽろ主催 ● さっぽろカフェストリートをつくらう！

平成十五年十月六日（月）

ホテルポールスター札幌

札幌の都心にトランジットモール

をつくらうをテーマに、ひと中心の快

適な都心のあり方について、パネリストの対

談と参加者との議論が行われました。

※トランジットモール

一般車両の通行を禁止し、バスや路面電車などの公共交通機関と歩行者のみが通行できる道路



トランジットモールになった駅前通のイメージ



Forum 2

LRT さっぽろ主催 ● 都市財政から考える公共交通戦略

平成十五年十月三十日（木）

ホテルポールスター札幌

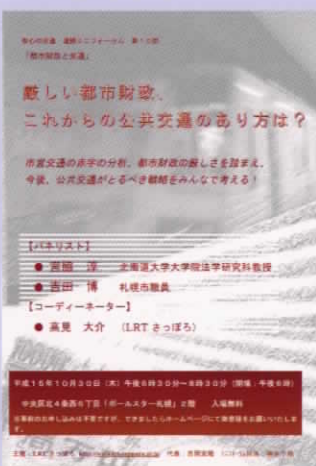
ますます厳しくなる都市財政

と市営交通の赤字の原因の分析を

踏まえて、今後、札幌市がとるべき公共交通

戦略について講演とパネルディスカッション

が行われました。



LRT さっぽろ

（代表 吉岡 宏高氏）

平成九年に設立された、まちづくりと交通に関する政策提言を目的とする市民政策研究グループ。これまで「LRTが走る二〇一五年の札幌」と「ひと中心の都心の二冊の提言書を刊行している。

URL <http://www.lrt-sapporo.gr.jp/>



Forum 3

● 札幌LRTの会主催 市電とLRT

平成十五年十月十六日(木)
札幌エルプラザ

市電の経営形態について、専門家からの提言をもとに検討されたほか、札幌にLRTは走るのか、走るとすればどこが適当かなどについて議論されました。

札幌LRTの会

(会長 吉見 宏氏)
平成八年に設立された、路面電車、LRTを中心に札幌都市圏の交通を考える市民団体。これまでに「札幌市電の走る街」(トンボ出版)、「札幌市電が走った街今昔」(JTB)を刊行している。

都心の交通 連続ミニフォーラム 第7弾

市電とLRT

市電は未来の交通機関
札幌にLRTの走る日

日時: 10月16日(木) 18:30~20:30
会場: 札幌エルプラザ(定員200名) 電話: 011-709-1121
札幌駅北口地下連絡通路へ徒歩約1分、12番出口へ直結した建物です。
入場無料 URL: <http://www.1935.com/Forum> 電話: 090-6381-9844

主催: 札幌LRTの会

●このフォーラムは、札幌市電の歴史を振り返り、札幌市電の未来を展望し、札幌市電の経営形態について議論し、札幌市電の経営形態を改善するための提言をまとめたものです。また、札幌市電の歴史を振り返り、札幌市電の未来を展望し、札幌市電の経営形態について議論し、札幌市電の経営形態を改善するための提言をまとめたものです。



大正15年(1926)の駅前通



札幌駅屋上より 昭和28年(1953)10月



北2条西3丁目付近 昭和29年(1954)7月

Forum 4

● 札幌駅前通振興会主催 温故知新 札幌駅前通

平成十五年十一月十日(月)
ホテルポールスタール札幌

かつて市電が走っていた駅前通は、JRタワーの開業により大きく変貌をとげ、さらには地下歩行空間の整備が計画されています。
貴重な写真と長年にわたって駅前通で事業に携わってきた札幌駅前通振興会会員の語りにより、駅前通の移り変わりが振り返られました。



札幌駅屋上より 昭和46年(1971)4月

札幌駅前通振興会

(会長 加藤 俊治氏)
昭和六十二年に商店街組織と街路灯組合が統合して設立され、駅前通にあるビルオーナーや店舗、事業所などが加入する親睦団体。清掃・環境美化活動も行っている。

4点の写真は札幌市写真ライブラリー提供

Topics 1 札幌市 路面電車事業の方向性引続き検討を

路面電車事業について、存廃を含めた今後の方向性を平成15年度末までに結論付けるとしていた札幌市は、事業を存続させるために、引続き検討を行うこととしました。

路面電車事業は、平成14年度決算で約1億1,000万円の赤字となりましたが、平成15年1月に実施したアンケート調査においては、過半数の市民が存続を望んでいる結果となっています。

札幌市では、事業を存続させるため、民間活力導入の可能性を検討するなど、経営形態の見直しによる効率化や、車両や施設の更新とそのため財源の確保など、さらなる課題の整理を引き続き行うとし、平成16年度予算に「路面電車経営形態検討調査費」を計上するとともに、市民を巻き込んだ議論を展開していくとしています。



Topics 2 市電沿線の飾花事業

路面電車の日にちなみ、平成15年6月10日から9月30日までの期間、市電沿線が花で飾られました。

すすきの電停と付近の中央分離帯、西4丁目電停にプランター45基が置かれたほか、電車事業所前の花壇(南21条西16丁目)に花が植えられ、華やいだ雰囲気を醸し出していました。

Topics 3 「市電の絵」作品コンクール

中央区内の幼稚園児、小学生を対象に中央区の主催により「市電の絵」作品コンクールが実施されました。

過去最高の応募作品598点のなかから優秀作品51点が選ばれ、平成15年11月2日から9日までの8日間、3両の市電に掲示され、「ギャラリー電車」として運行されました。夢いっぱい楽しい優秀作品の一部をどうぞご覧ください。



Topics 4 市電スタンプラリーの開催

平成15年11月2日(日)と3日(月・祝)の2日間、市電沿線の5ヶ所の施設を巡る「市電スタンプラリー」が中央区の主催により初めて開催され、小学生や親子連れなど約300人が参加しました。

参加者は、市電マップ付きのスタンプ帳に5ヶ所のスタンプを押して中央区民センターにゴールし、参加賞のオリジナル市電ペーパークラフトをもらったほか、完走者のなかから抽選で20名が市電の運転を体験しました。

市電の会では、このイベントに協力し、電車事業所内で市電の歴史と全国の路面電車を写真パネルで紹介したほか、賛助会員がスタンプラリーの受付を行いました。



さあスタート



どこから先に回るのかな



写真パネル展



市電体験運転



市電工場見学



5つのスタンプを集めてゴール



中央区民センター



旭山公園通地区センター



豊平館



山鼻・曙まちづくりハウス



電車事業所

News

1 第6回全国路面電車サミットin函館大会 開催 平成15年10月2日～5日 於：函館市

平成15年10月2日から5日までの4日間、路面電車サミットin函館大会実行委員会の主催により、函館市で第6回全国路面電車サミットが開催されました。

今回のサミットでは、「環境(車社会と路面電車)」、「LRT(電車による街づくり)」、「電車沿線の商店街振興」の三つの分科会に分かれて議論が行われ、下記の路面電車サミット宣言が採択されました。

次回のサミットは、土佐電気鉄道線の開業100周年を記念して、1年早めて平成16年に開催することが、前回の熊本サミットで決定していましたが、その日程が10月22日から24日に決定しました。また、その次のサミットは、平成18年に長崎市で開催されることが決定しました。

《路面電車サミット宣言》第6回全国路面電車サミットin函館大会

私たち全国の路面電車愛好・支援団体と路面電車事業者は、「路面電車開業90周年」を迎えた函館市において、「人と環境にやさしい乗り物 路面電車」の今後のあり方とそれを活用した街づくり等について講演を受け、また、討論・意見交換を行った。

その結果について次のとおり宣言する。

- 1 地球温暖化をはじめ、環境汚染問題が深刻化する中で、二酸化炭素削減は世界的な重要課題であることから、自家用自動車と路面電車の役割分担を明確にし、路面電車の充実・発展により、これらの対応や対策強化に努めます。
- 1 路面電車が街の発展と地域経済に大きく寄与してきた歴史的経過を踏まえ、路面電車を活用した街づくり(市街地の拡大と地域経済の活性化)のため、路線の延伸等を市民運動として進めます。
- 1 高齢社会の中で、高齢者や障害者をはじめ、誰もが快適に安心して乗車できる低床車などのバリアフリー的な車両と施設改善や改良を実現し、利用しやすい路面電車をめざします。
- 1 新しい交通システムとして、LRTの積極的な導入促進のため、今大会を契機に路面電車愛好支援団体と電車事業者は、その調査・研究により一層取り組むとともに、国や自治体からのさらなる支援を要望します。
- 1 第6回路面電車サミット2003in函館大会で成果を収めた事項については、それぞれの立場で今後の活動に可能な限り反映させるとともに、全国的にも路面電車をPRするため、6月10日の路面電車の日には積極的に行事やイベント等を企画します。

平成15年10月4日 全国路面電車愛好支援団体協議会
全国路面軌道連絡協議会
第6回路面電車サミット2003in函館大会
実行委員会



News

2 市電の優先信号実験が行われる



交通量が多い南1条通 西6丁目付近
撮影 札幌LRTの会
臼井 寛氏(当会賛助会員)

北海道運輸局、北海道警察、札幌市などで構成される「札幌市路面電車活性化プログラム策定委員会」では、市電の走行時間を短縮させることにより、利便性の向上を図るため、平成15年9月末、11月上旬、16年1月末の各1週間、優先信号の実験を行いました。

実験は、乗降客が多く、信号待ちの回数が多い南1条通の西4丁目から西15丁目の約1.4キロの区間で行われ、事前に想定した電車の進行速度に合わせて信号が青になるタイミングを設定したり、交差点の手前に感知器をつけ、電車が接近したら青信号を延長するなどの方法が試されました。

その結果、秋期、冬期ともに自動車走行に大きな影響を生じさせることなく、信号停止回数の減少や走行時間の短縮の効果がみられたことから、今後関係機関において導入に向けた実質的な協議が進められます。

News 3 市電で全国初のICカード実験が行われる

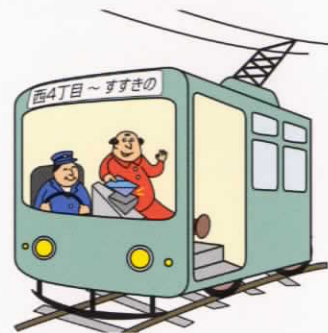
札幌市が出資する第三セクターの札幌総合情報センター(株)は、平成16年1月15日から3月末までの期間、読み取り機にかざすだけで料金が引き落とされるICカードの実証実験を、総務省の実験事業として、市電では全国で初めて行いました。

同社は、平成11年から既に地下鉄で実験を行っており、これまでのモニター約5,000人に加え、新たに約350人を追加で委嘱し、地下鉄との乗継割引なども実証しました。カードは、S.M.A.P.(スマップ)カード(Sapporo Multi Access Port Card)と呼ばれ、パスケースから出すことなく、読み取り機にかざすだけで、スムーズに電車を降りられます。

仮に乗客全員がカードを利用すれば、停車時間を約半分に短縮できるとみられ、本格的な導入が待ち望まれます。



S.M.A.P.カード



News 4 市電と沿線の魅力を案内します 「さっぽろ観光おすすめコースコンテスト」大賞作品より

札幌市が来客2,000万人を目指して展開している「集客交流・シティPRキャンペーン事業」の一環として、市民から募集した「さっぽろ観光おすすめコースコンテスト」の大賞(3作品)の1つに、厚別区在住の学生塚越康右さん(20)考案のコース「ぐるっと市電DE札幌の魅力、彩発見!」が選ばれました。

「あなたが札幌に訪れたお客様を案内するとしたらどこへ案内しますか?」をテーマとしたコンテスト。塚越さんは、「市電の魅力を再発見しながら、沿線の見どころを巡るコースです。特に道外からのお客様にお勧めしたいです。」と話していました。

- 西4丁目 市電で「西4丁目」を出発。
- 札幌市資料館 「中央区役所前」で下車し、札幌市資料館、おおば比呂司記念室を見学、大通公園を散策します。
- 藻岩山 「ロープウェイ入口」で下車し、ロープウェイで山頂へ。札幌の市街地はもとより、遠くは石狩湾なども眺められ、雄大さを実感できます。
- 幌平橋 「静修学園前」で下車し、豊平川に架かる幌平橋へ。歩道部分は、札幌の姉妹都市にちなんで、ポートランド広場と名づけられています。橋の上の高さ20mのアーチからは、山並みや河川敷が望めます。
- 中島公園 「中島公園通」で下車し、市民の憩いの場、中島公園へ。鴨々川や菖蒲池の散策や豊平館、札幌コンサートホールKitaraなどがあります。
- すすきの 市電の旅の終点。北の歓楽街でサッポロラーメンやジンギスカン、海の幸などを満喫してください。



画：中央区在住の水彩色鉛筆画家 鈴木 周作氏(当会賛助会員)

お知らせ

札幌市交通局オリジナル
市電M101形ミニが発売されます

(財)札幌市交通事業振興公社では、昨年発売し好評を博した「ササラ電車」ミニに続く、市電車両のミニカー第2弾として、市電M101形ミニを製作し、平成16年6月中旬の発売に向けて準備を進めています。

M101形は、昭和36年にラッシュ対策のために連接車として製造され、「親子電車」の名で親まれた車両の親車です。その後、親車は単独運行のワンマンカーに改造され、子車は現在交通資料館に保存展示されています。

価格は千円を予定し、発売方法や発売個数などは、広報さっぽろや市営交通車両内、地下鉄駅構内に掲示するポスター、新聞などでお知らせします。どうぞご期待ください。



M101形 撮影 札幌LRTの会 松居国男氏



好評発売中の「ササラ電車」ミニ

〈お問合せ先〉
(財)札幌市交通事業振興公社総務課
☎011-513-5205

お知らせ

市電停留場の名称が変わりました

都心部4小学校の統廃合に伴い、平成16年3月に廃校となった創成小学校跡地に資生館小学校が開校しました。それに伴い、「創成小学校前」の停留場名が4月1日より「資生館小学校前」に変更されました。



資生館小学校 保育所など子育て関連施設との複合施設



お知らせ

「市電の会」賛助会員募集

市電の会では、賛助会員を募集しています。市電の好きな方なら個人でも法人やサークルなどの団体でも入会できます。年会費は、個人1,000円、団体10,000円。会員には会員パッチを差し上げるほか、会報「市電のふるさと」をお送りします。

入会をご希望の方には、中央区役所や中央区内の各まちづくりセンターでお渡ししている入会申込書に入会金を添えて、事務局までお持ちください(送っていただいても結構です)。

また、インターネットによる入会の受け付けも行っています。詳しくは、中央区ホームページの「市電倶楽部」をご覧ください。

(URL) <http://www.city.sapporo.jp/chuo/>

【申し込み・お問い合わせ】

市電の会 事務局 中央区南3条西11丁目 中央区役所地域振興課(まちづくり担当) ☎(011)231-2400 内線219